前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)						
			·	〒 112-8525 所 東京都文京区後楽1-4-25日教販ビル		
本票作成 部署名: 岡山工場 製造ユニット 生産技術グループ						
主たる業	種	分類 コード 23 業種名:非鉄金属勢	製造業			
事業の	&4×1			4.C. F.		
概要						
	番	号 工場等の名称		所 在 地		
	(1	岡山工場	世	岡山市東区瀬戸町南方150		
県内の						
主 な 工場等						
特定事業	老			00台、タクシー250台以上 □ ③C0₂換算3,000t以上		
の該当要		(●工場等の数 1		両台数(②該当の場合) 台)		
温室効果カ	デフ	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29)	年度排出量 目標年度(平成 31 年度)		
排出量		基準中度(中成 20 中度) 41,075 t CO ₂		+ 及折山里 日標中度 (十成 31 年度) ,878 t CO ₂ 39,000 t CO ₂		
177山里		番号 工場等の名称	01,	(平成 29) 年度排出量		
	ŀ	① 岡山工場		37, 878 t CO ₂		
				t CO ₂		
主な工場 の排出量				t CO ₂		
	Ì			t CO ₂		
				t CO ₂		
				t CO ₂		
		計画期間: 平成 27 年	年度 ~	平成 31 年度 (5 箇年度)		
削減目標 達成状流		□ 総排出量基準 (29)年度削減実績	目標削減率 目標達成		
279000	, .	☑ 原単位基準	0.7 %	5.0 % □達成 □未達		
(原単位基	* %#:	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内		原単位当たり排出量		
の削減目標	を	各種アルミ缶の生産数を、エネ	2 1/2 201/ 	基準年度 (29)年度 目標年度 20 755 22 462		
選択してV 場合に記入	, O	量を基準見合いに換算し算出し	た数	29. 960 29. 755 28. 462 02/百万缶) t CO2/(百万缶) t CO2/(百万缶)		
(\$\tau\rightarrow\righ	¥±.	ν.γ. ≑1 1)	įt co	t CO ₂ /(E M ii) t CO ₂ /(E M ii)		
ベンチマー		Dみ記入) 対象事業の名称 ベン	 /チマーク指標	関連数値(平成 29 年度) 達成率等		
指標の状	:況		- 38 27	120		
		 D自己評価】				
排出量削減のための取り組みを予定通り実行したが、外部環境による生産調整によりCO2排出量は						
減少したものの、アルミ缶の生産量が減少したため、エネルギー原単位は対前年度比103.9%と 悪化した。同様にCO2原単位も対前年度比103%と悪化した。						

7 +	#	/#:	体	41	į '
1 1	#	TЩ	145	THI	

本社の安全環境部長を筆頭に安全環境部にて省エネ推進委員会を開催し、排出量削減の取組状況のフォローが行われた。また工場でも工場長を筆頭に省エネ推進委員会が組織され、排出量削減に取り組んだ。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

_【目標削減率達成のために実施	<u> </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(H29年度実施分) 照明のLED化 (継続) 老朽エアコンの更新 老朽エアドライヤーの更新 老朽バキュームポンプの更新 (今後実施予定分) 乾燥炉への遮熱塗料塗布 乾燥炉のバーナー給気をヒートポンプにて予熱 洗浄液加温へのヒートポンプ活用 老朽コンプレッサーの更新 照明のLED化 (継続)
	1

_【森林保	全等呀	収源対策への取組】
県内で の取組	無	
その他	無	
-		
【再生可	能エネ	ベルギーの導入】
【再生可 県内で の取組	能工才無無	メルギーの導入】

【その他特記事項】				
·				